

(講座) 感染分子病態学 (研究室) 感染分子薬学
(氏名) 渡辺 健 (職名) 助手

【研究テーマ】

1. インフルエンザウイルスマトリックス蛋白質結合宿主因子 Hsc70 の機能解析
2. 質量分析計を用いたウイルス蛋白質解析に関する研究

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. Arima K, Nishida N, Sakaguchi S, Shigematsu K, Atarashi R, Yamaguchi N, Yoshikawa D, Yoon J, Watanabe K, Kobayashi N, Mouillet-Richard S, Lehmann S and Katamine S. Biological and Biochemical characteristics of prion strains conserved in persistently-infected cell cultures. J. Virol. 2005;79,7104-7112. (IF=5.398)
2. Makoto Saito, Takashi Murata, Ken Watanabe, Koji Kawakami, Motoyoshi Suzuki, Takehiko Koji, Raj K. Puri, Kaio Kitazato, and Nobuyuki Kobayashi. Adenoviral vector-mediated gene transfer of IL-13Ra2 chain followed by IL-13 cytotoxin treatment offers a potent targeted therapy for various types of cancer. Int. J. Cancer. 2005; 116, 1-8 (IF=4.416)

【学会発表】

A 国際学会

(A-b) 一般講演

1. K Watanabe, I Asano, K Kitazato, N Kobayashi Roles of Hsc70 in Life Cycle of Influenza Virus The XIIIth International Congress of Virology 2005年7月 アメリカ・サンフランシスコ
2. K Adachi, K Tamura, T Takahashi, A Shimochi, K Nagata, K Watanabe, K Kitazato N kobayashi. Development of an AIDS Vaccine Using Recombinant Influenza Virus Vector. The XIIIth International Congress of Virology 2005年7月 アメリカ・サンフランシスコ

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 布施 隆行, 渡辺 健, 北里 海雄, 小林 信之細胞毒性を利用した HIV-1 プロテアーゼ阻害剤評価法の確立と細胞毒性機構の解明 平成 17 年度日本生化学会九州支部会例会 2005 年 5 月 福岡
2. 富盛裕司、斉藤誠、竹平恭子、渡辺健、北里海雄、小林信之 ヒト細胞における MIP-T3 の発現解析 平成 17 年度日本生化学会九州支部会例会 2005 年 5 月 福岡
3. 浅野郁星、渡辺健、内藤忠相、永田恭介、塚原富士子、丸義朗、北里海雄、小林信之

インフルエンザウイルスM1蛋白質と宿主因子Hsp70ファミリー蛋白質との相互作用解析 第42回 日本ウイルス学会九州支部会総会 2005年7月 那覇

4. 下地章慶、足立圭、横山寿子、永田恭介、渡辺健、北里海雄、小林信之 キメラインフルエンザウイルス感染マウスにおける免疫反応のウエスタンブロット法による確認 第42回 日本ウイルス学会九州支部会総会 2005年7月 那覇
5. 初田康、藤本聡志、Herizo F Rafidinarivo 渡辺健、北里海雄、小林信之 細菌16SrDNAのRFLPによる海洋環境評価法の確立 第42回 日本ウイルス学会九州支部会総会 2005年7月 那覇
6. Herizo F Rafidinarivo,藤本聡志、渡辺健、北里海雄、小林信之 微生物群集構造解析による諫早湾環境経時的変動の評価 第42回 日本ウイルス学会九州支部会総会 2005年7月 那覇
7. 渡辺健、布施隆行、浅野郁星、永田恭介、北里海雄、小林信之。 インフルエンザウイルスマトリックスタンパク質(M1)結合宿主因子、Hsc70の機能解析 第53回 日本ウイルス学会学術集会 2005年11月 横浜
8. 足立圭、下地章慶、横山寿子、永田恭介、渡辺健、北里海雄、小林信之 HIV V3挿入組換えインフルエンザウイルスによるAIDSワクチン応用の基礎検討 第53回 日本ウイルス学会学術集会 2005年11月 横浜
9. 布施隆行、渡辺健、北里海雄、小林信之 細胞毒性を利用したHIV-1プロテアーゼ阻害剤評価法の確立 第52回日本臨床検査医学会・第45回日本臨床化学会年会連合大会 2005年11月 福岡
10. 北里海雄、斉藤誠、富盛裕司、竹平恭子、渡辺健、小林信之 微小管結合タンパク質MIP-T3の機能解析 第28回日本分子生物学会総会 2005年12月 福岡

【過去の研究業績総計】

原著論文(欧文)	11編		
総説(欧文)	1編		
著書(欧文)	1編	(邦文)	2編